



平成23年11月1日

平成23年度大学の世界展開力強化事業の採択事業の決定について ～日中韓「キャンパス・アジア」パイロット事業等が開始～

平成23年度大学の世界展開力強化事業について、採択事業を決定しましたので、お知らせします。

1. 事業の概要

「大学の世界展開力強化事業」は、アジア及び米国等との高等教育ネットワークの構築を図ることにより、我が国の大学の世界展開力を強化し、グローバルな社会で活躍できる人材を育成するため国際的な枠組みでの高等教育の質保証を図りながら、外国人学生の戦略的受入れ、日本人学生と日中韓・米国等の外国人学生との協働教育による交流を行う事業に対して重点的に財政支援することを目的としています。

○タイプA「キャンパス・アジア」中核拠点形成支援

以下のⅠ、Ⅱのいずれかの事業を対象とします。

- Ⅰ) 日中韓の三カ国における大学間で1つのコンソーシアムを形成し、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を統一的行う交流プログラムを実施する事業（CAMPUS Asiaパイロット事業）
- Ⅱ) 中国、韓国又は東南アジア諸国連合の国々における大学との単位の相互認定や成績管理、学位授与等を統一的行う交流プログラムを実施する事業

○タイプB「米国大学等との協働教育の創成支援」

以下のⅠ、Ⅱのいずれかの事業を対象とします。

- Ⅰ) 米国における大学等との協働教育を行う交流プログラムを実施する事業
- Ⅱ) 米国以外の欧州、豪州等における大学等との協働教育を行う交流プログラムを実施する事業

2. 審査の概要

平成23年5月20日に各国公私立大学長宛に公募の通知を行い、7月22日に公募を締め切り、91校から183件の申請を受け付けた後、大学の世界展開力強化事業プログラム委員会（委員長：平野 眞一 独立行政法人大学評価・学位授与機構長）において審査を行い、別添のとおり、25件〔19校〕（採択率約13.7パーセント）を採択いたしました。

- 申請・採択状況一覧（総括表）
- 採択事業一覧
- 事業概要

<担当> （お問い合わせ）

文部科学省高等教育局高等教育企画課

国際企画室長 坂下 鈴 鹿

国際企画室専門官 佐藤 邦 明

国際企画室調整係長 藤田 尚 弥

電話：03-6734-2625（直通）

03-5253-4111（内線2625、3352）

平成23年度大学の世界展開力強化事業 申請・採択状況一覧

| | | | タイプA キャンパス・アジア 中核拠点形成支援 | | | タイプB 米国大学等との 協働教育の創成支援 | | | 計 |
|--------|--------|-----|-------------------------------|----|-----|------------------------------|----|----|-----|
| | | | I | II | 計 | I | II | 計 | |
| 申 請 | 国 立 | 大学数 | 22 | 26 | 34 | 13 | 17 | 25 | 38 |
| | | 件数 | 29 | 31 | 60 | 19 | 20 | 39 | 99 |
| | 公 立 | 大学数 | 2 | 1 | 3 | 5 | 0 | 5 | 6 |
| | | 件数 | 2 | 2 | 4 | 5 | 0 | 5 | 9 |
| | 私 立 | 大学数 | 18 | 17 | 29 | 23 | 9 | 28 | 47 |
| | | 件数 | 20 | 19 | 39 | 25 | 11 | 36 | 75 |
| | 計 | 大学数 | 42 | 44 | 66 | 41 | 26 | 58 | 91 |
| | | 件数 | 51 | 52 | 103 | 49 | 31 | 80 | 183 |
| 採 択 | 国 立 | 大学数 | 8 | 2 | 10 | 3 | 3 | 6 | 13 |
| | | 件数 | 9 | 2 | 11 | 3 | 3 | 6 | 17 |
| | 公 立 | 大学数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | | 件数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | 私 立 | 大学数 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 4 | 5 |
| | | 件数 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 5 | 7 |
| | 計 | 大学数 | 9 | 3 | 12 | 7 | 5 | 11 | 19 |
| | | 件数 | 10 | 3 | 13 | 7 | 5 | 12 | 25 |

※ 1大学で複数の申請が可能のため、「大学数」における各区分の合計数と「計」は一致しないことがある。

平成23年度大学の世界展開力強化事業 採択事業一覧
 タイプA(キャンパス・アジア中核拠点形成支援)

タイプA-I (日中韓のトライアングル交流事業 - CAMPUS ASIA pilot program -)

| 大学名 | 設置 | 構想名 | 相手大学 |
|---------------|----|---|--|
| 1 東京大学 | 国 | 公共政策・国際関係分野におけるBESETOダブル・ディグリー・マスタープログラム | 北京大学(中国)、ソウル大学校(韓国) |
| 2 東京工業大学 | 国 | 日中韓先進科学技術大学教育環 | 清華大学(中国)、KAIST(韓国) |
| 3 一橋大学 | 国 | アジア・ビジネスリーダー・プログラム | 北京大学(中国)、ソウル大学校(韓国) |
| 4 政策研究大学院大学 | 国 | 北東アジア地域における政策研究コンソーシアム | 清華大学(中国)、韓国開発研究院(韓国) |
| 5 名古屋大学 | 国 | 東アジア「ユス・コム・ネ」(共通法)形成にむけた法的・政治的認識共同体の人材育成 | 中国人民大学(中国)、清華大学(中国)、上海交通大学(中国)、成均館大学校(韓国)、ソウル大学校(韓国) |
| 6 ○名古屋大学、東北大学 | 国 | 持続的社会に貢献する化学・材料分野のアジア先端協働教育拠点の形成 | 南京大学(中国)、上海交通大学(中国)、ソウル大学校(韓国)、浦項工科大学校(韓国) |
| 7 神戸大学 | 国 | 東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム | 復旦大学(中国)、高麗大学校(韓国) |
| 8 岡山大学 | 国 | 東アジアの共通善を実現する深い教養に裏打ちされた中核的人材育成プログラム | 吉林大学(中国)、成均館大学校(韓国) |
| 9 九州大学 | 国 | エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム | 上海交通大学(中国)、釜山大学校(韓国) |
| 10 立命館大学 | 私 | 東アジア次世代人文科学リーダー養成のための、日中韓共同運営トライアングルキャンパス | 広東外語外貿大学(中国)、東西大学校(韓国) |

タイプA-II (中国、韓国又は東南アジア諸国連合(ASEAN)の国々における大学等との交流プログラムを実施する事業)

| 大学名 | 設置 | 構想名 | 相手大学 |
|------------------------|----|--|--|
| 1 京都大学 | 国 | 強靱な国づくりを担う国際人育成のための中核拠点の形成-災害復興の経験を踏まえて- | チュロンコン大学(タイ)、カセサート大学(タイ)、アジア工科大学(タイ)、バンドン工科大学(インドネシア)、ベトナム国家大学ハノイ校(ベトナム)、マラヤ大学(マレーシア) |
| 2 ○大阪大学、広島大学、長崎大学、名城大学 | 国 | 「アジア平和=人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成 | ナンヤン工科大学(シンガポール)、パヤップ大学(タイ)、デ・ラ・サール大学(フィリピン)、国立東ティモール大学(東ティモール民主共和国)、シアラ・クアラ大学(インドネシア)、国連平和大学(コスタリカ) |
| 3 早稲田大学 | 私 | アジア地域統合のための東アジア大学院(EAUI)拠点形成構想 | 北京大学(中国)、高麗大学(韓国)、タマサート大学(タイ)、ナンヤン工科大学(シンガポール) |

平成23年度大学の世界展開力強化事業 採択事業一覧
 タイプB(米国大学等との協働教育の創成支援)

タイプB-I(米国における大学等との協働教育を行う交流プログラムを実施する事業)

| 大学名 | 設置 | 構想名 | 相手大学等 |
|---------------|----|---|--|
| 1 東京大学 | 国 | 巨大複雑システム統括エンジニア育成に向けた国際協働教育プログラムの創出 | マサチューセッツ工科大学(米国)、カリフォルニア大学バークレー校(米国)、インペリアル・カレッジ・ロンドン(英国)、スイス連邦工科大学(スイス)、スウェーデン王立工科大学(スウェーデン) |
| 2 東京工業大学 | 国 | グローバル理工系リーダー養成協働ネットワーク | カリフォルニア工科大学(米国)、マサチューセッツ工科大学(米国)、ジョージア工科大学(米国)、カリフォルニア大学バークレー校(米国)、ミシガン大学アナーバー校(米国)、ワシントン大学(米国)、ウィスコンシン大学(米国)、ミネソタ大学ツインシティ校(米国)、スタンフォード大学(米国)、ブラウン大学(米国)、インペリアル・カレッジ・ロンドン(英国)、デルフト工科大学(オランダ)、スイス連邦工科大学チューリッヒ校(スイス)、アーヘン工科大学(ドイツ)、パリテック(フランス)、南洋理工大學(シンガポール)、香港科技大学(中国) |
| 3 名古屋大学 | 国 | 修士課程国際共同大学院の創成を目指す先駆的日米協働教育プログラム | カリフォルニア大学ロサンゼルス校(米国)、ミシガン大学(米国) |
| 4 国際教養大学 | 公 | 「日米協働課題解決型プロジェクト科目」の導入と「日米教員協働プラットフォーム」構築 | オレゴン州立大学(米国)、オレゴン大学(米国)、ポートランド州立大学(米国)、オレゴン工科大学(米国)、西オレゴン大学(米国)、南オレゴン大学(米国)、東オレゴン大学(米国)、ユタ大学(米国) |
| 5 慶應義塾大学 | 私 | グローバルイノベーションデザイン・プログラム | プラット・インスティテュート(米国)、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(英国) |
| 6 早稲田大学 | 私 | 早稲田大学グローバル・リーダーシップ・プログラム | コロンビア大学(米国)、ジョージタウン大学(米国)、ペンシルベニア大学(米国)、カリフォルニア大学バークレー校(米国)、ワシントン大学(米国) |
| 7 立命館アジア太平洋大学 | 私 | APU-SEUグローバル協働教育プログラム—入学前教育から大学教養・専門教育まで | セント・エドワーズ大学(米国) |

タイプB-II(米国以外の欧州、豪州等における大学等との協働教育を行う交流プログラムを実施する事業)

| 大学名 | 設置 | 構想名 | 相手大学等 |
|----------|----|--|--|
| 1 筑波大学 | 国 | 人社会系グローバル人材養成のための東アジア・欧州協働教育推進プログラム | ボン大学(ドイツ)、ベルリン自由大学(ドイツ)、リュブリャナ大学(スロベニア)、フランシュコンテ大学(フランス)、モスクワ市立教育大学(ロシア)、カ・フォスカリ(ヴェネツィア)大学(イタリア)、高麗大学校(韓国) |
| 2 千葉大学 | 国 | 大陸間デザイン教育プログラム(CODE Program) | バーソーンズ美術大学(米国)、College for Creative Studies(米国)、カリフォルニア州立大学(米国)、グラスゴー芸術大学(英国)、アールト大学(フィンランド)、ENSCI Les Ateliers(フランス)、ミラノ工科大学(イタリア) |
| 3 広島大学 | 国 | 国際大学間コンソーシアムINUを活用した、平和・環境分野における協働教育 | ジェームスマディソン大学(米国)、フリンダース大学(豪州)、ラトローブ大学(豪州)、クイーンズランド大学(豪州)、グリフィス大学(豪州)、慶熙大学校(韓国)、ロビーラ・イ・ヴィルジリー大学(スペイン)、マルメ大学(スウェーデン)、レスター大学(英国) |
| 4 慶應義塾大学 | 私 | グローバルエンジニア育成のための欧州理工系大学との連携プログラムの構築 | アーヘン工科大学(ドイツ)、ダルムシュタット工科大学(ドイツ)、ミュンヘン工科大学(ドイツ)、ミラノ工科大学(イタリア)、スウェーデン王立工科大学(スウェーデン)、ルンド大学(スウェーデン)、マドリッド工科大学(スペイン)、エコールサントラルグループ(フランス)、T.I.M.E. Association加盟大学 |
| 5 関西学院大学 | 私 | 日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ」 | マウント・アリソン大学(カナダ)、トロント大学(カナダ)、クイーンズ大学(カナダ) |

大学の世界展開力強化事業

【趣 旨】

アジア及び米国等との高等教育ネットワークの構築を図ることにより、我が国の大学の世界展開力を強化し、グローバルな社会で活躍できる人材を育成するため国際的な枠組みでの高等教育の質保証を図りながら、外国人学生の戦略的受入れ、日本人学生と日中韓・米国等の外国人学生との協働教育による交流を行う事業に対して重点的に財政支援することを目的としています。

【概 要】

タイプA：「キャンパス・アジア」中核拠点形成支援（平成23年度：842百万円）

以下のⅠ、Ⅱのいずれかの事業を対象とします。

Ⅰ) 日中韓の三カ国における大学間で1つのコンソーシアムを形成し、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を統一的に行う交流プログラムを実施する事業（日中韓のトライアングル交流事業 - CAMPUS Asia パイロット・プログラム - ）

Ⅱ) 中国、韓国又は東南アジア諸国連合の国々における大学との単位の相互認定や成績管理、学位授与等を統一的に行う交流プログラムを実施する事業

タイプB：米国大学等との協働教育の創成支援（平成23年度：842百万円）

以下のⅠ、Ⅱのいずれかの事業を対象とします。

Ⅰ) 米国における大学等との協働教育を行う交流プログラムを実施する事業

Ⅱ) 米国以外の欧州、豪州等における大学等との協働教育を行う交流プログラムを実施する事業

基本的な仕組みの概要は以下のとおり。

対 象：国公立大学

公 募：「キャンパス・アジア」中核拠点支援 10件程度採択
米国大学等との協働教育創成支援 10件程度採択

申 請：大学の設置者から文部科学大臣宛に行う。国内の大学が複数参加して実施する取組の場合には、主となる1つの大学が代表して申請

審 査：選定のための審査は、独立行政法人日本学術振興会を中心に運営される「大学の世界展開力強化事業プログラム委員会（以下「委員会」という。）」が実施。具体的には、委員会のもとに設置される事業タイプごとの審査部会において「書面審査」及び「ヒアリング審査」を実施し、委員会は、各審査部会の審査結果を踏まえ、タイプごとに採択する構想を決定。

事業期間等：5年間（支援開始から3年目に平成24年度までの取組状況に関する中間評価、支援終了後（支援開始から6年目の平成28年度）に支援期間全体の実績に関する事後評価を実施）

補助金額上限：1件あたり年間8千万円を上限

審査の視点：

対象となる交流プログラムの枠組みが構築されているか

質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組みが形成されているか

外国人学生の受入れ及び日本人学生の派遣のための環境が整備されているか

構想実施に伴う大学の国際化と情報公開、成果普及を行う体制が構築されているか

達成目標が具体的且つ明確か

大学の世界展開に向けた取組の実績があるか

構想の実現に向けた準備状況、資金計画が合理的か

日中韓「CAMPUS Asia(キャンパス・アジア)」概要

【経緯】

- 平成 21 年 10 月 10 日 第 2 回日中韓サミット（於北京）において、今後の人と人の協力として大学間交流の重要性について日本側から提起。三国の大学の間で単位の互換や交流プログラムなどの質の高い交流を行うための有識者会議の設置等を提案し、中韓が賛同。
- 平成 22 年 4 月 16 日 第 1 回日中韓大学間交流・連携推進会議（於東京）を開催。各国の政府、大学、質保証機関、産業界等から成る有識者委員により、日中韓の大学間交流の構想名称を「CAMPUS Asia」*（キャンパス・アジア）とすること等に合意。（*Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia）
- 平成 22 年 12 月 10 日 第 2 回会議（於北京）では、大学間交流を促進するための単位互換や成績評価等に関する 3 国間のガイドライン（以下ガイドライン）及びパイロットプログラムの平成 23 年早期の開始に合意。
- 平成 23 年 5 月 17 日 第 3 回会議（於済州）を開催。ガイドラインの最終確定及びパイロットプログラムの共同公募の諸条（毎年各国が最大 100 名のプログラム留学生受入れに係る財政支援を行う等）に合意。またガイドラインでは、3 国の政府、大学、質保証機関それぞれに求められる役割を明確化し、公表。
- ・ 政府： 質保証の枠組の整備、大学・質保証機関への支援
 - ・ 大学： 内部質保証の仕組み整備、交流プログラムの実施
 - ・ 質保証機関： 国を超えた情報共有、共同の評価指標
- 平成 23 年 7 月 22 日 パイロットプログラムの申請締切
- 平成 23 年 11 月 1 日 申請された 51 プログラムに対して、各国の一次審査及び 3 国による二次（合同）審査を経て、採択 10 プログラムを確定、発表。

【期待される成果】

- パイロット・プログラムをつうじた 3 国の大学における単位相互認定、適切な成績管理・学位授与及び 3 国間の質保証の共通枠組みを構築し、今後のアジアの大学間交流を先導。
- 日中韓 3 国のみならず、ひいてはアジアにおける学生の受入れ・派遣が質量ともに増大。若者の知的人材交流及び相互理解が活発化し、未来のアジア全体の繁栄、発展に貢献。

【ポイント】

- 文部科学省のこれまでの補助事業のうち、海外関係者との議論によりガイドラインやプログラム概要を具体化し、多国間の共同審査等を経て大学間交流プログラムを採択する試みは、これまでで初めて。